

# かしわ



No. 16



## 今年度をふりかえり、来年度に向けて

校長 北村 耕一

1月に発行されたPTA広報紙「あけぼの」第171号で、平成27年を「忙」という漢字で表現しました。私の実感として忙しさを感じたことは確かです。ところが、執筆して提出した後に、某新聞のコラムで「忙」という漢字は、「心が亡ぶ＝滅ぶ」という意味のことが書かれているのを読みました。

平成27年度はあと少しで終わりますが、多くの新しいことを学んだ一年でした。また、多くの出会いもありました。いずれも特別支援学校である本校に勤務しているからこそ体験できたことです。そういうことをふりかえると、「忙」という漢字を選んでしまった自分の愚かさを反省してしまいます。

親や先輩から「仕事を与えられているうちが華だと思いなさい」とよく言われました。若い時分には内心「忙しくなると疲れるから嫌だな」と思ったこともありましたが、しかし、様々な仕事を任せてもらって得た体験から、言語化できないコミュニケーション能力や感性を知らず知らずのうちに身につけることができたと思います。また、まだまだ足りませんが「知恵＝生き抜く力」も少しは得られたと感じます。

平成27年度の本校での全ての教育活動を通して、今まで同様、私自身が身につけられたことは多かったと思います。同じことが子ども一人ひとりについても言えると思います。

平成28年度には同じ「りっしんべん」を持つ「愉」＝「たのしい」という漢字を選ぶことができるように、また、子ども・保護者の皆様も感じられるように、日々の学校生活を大切に「愉しみたい」と思います。

平成27年度、本校の中心となって学校を牽引してくれた多くの教職員を代表して7名の方にふりかえりと来年度に向けての思いを書いてもらいました。

教頭 増田 功

早いもので、皆が新しい学年に上がってもうすぐ一年がたとうとしています。今振り返ってみるといかがでしょうか。新学年になって、ちゃんとやっていけるか心配だったり、勉強が難しくなるからやっていけるか不安だったことと思いますが、一年たって個人個人の活動の様子からしっかり成長していることを実感し、とてもうれしく思います。この一年間は本当にいろいろなことがありました。

平成28年3月7日 本校のお雑様。

幼稚部の子は外で思いっきり遊んで、走り回っている姿が目には浮かびます。給食の後にはいつも背丈を測って昨日より大きくなった自分を発見していました。先生に合わせて、大きな声で歌も歌えます。

小学部低学年の子は少しお兄さんお姉さんになりました。字がうまく書けるようになったり、図工の作品がとても個性的で美術館での展示されたものはとても素晴らしい出来でした。

小学部高学年は一つ一つ丁寧な行動が身に着き、勉強もできるようになりました。苦手なこともたくさんあるけれど、努力でいろいろなことを克服しています。

中学部・高等部の皆さんは人の気持ちを考える、人に優しい、思いやりのある人に育っています。後輩たちにもいい模範となるような行動もしめしてくれています。特に高等部3年生の2人は、将来の自分の道を切り開き、社会に巣立つ準備ができました。

皆はこの一年間、一生懸命に歩いていました。ついこの間まで小さかったり、引っ込み思案な子だったり、恥ずかしがり屋さんだったり、いたずらさんだったりしましたが、皆はとてもたくさんいいところがあって、立派に成長しています。皆さんはこの学校で勉強に運動に努力をする才能を身に付けました。これからもおおいにその力を発揮してってください。

幼稚部代表 教諭 鈴木 由枝

「ろうかをあるくときは、しずかにあるかなくちゃだめだよ!」「いただきますをしてから、みんなでいっしょにたべるんだから、かってにたべちゃだめだよ。」幼稚部でしばしば見られるやりとりの光景です。様々な活動場面で、子ども達から注意を受けているのは教師です。いちいち困った事をしでかす教師に、はじめは戸惑っていましたが、最近では「またか…」と言わんばかりの表情で胸を張って注意をします。

子ども同士はみんな仲良しです。意地悪をする子、乱暴な事や困った事をする友達が身近に一人もいません。そのため、通常の集団生活では当たり前になりうる、子ども達にとって厄介な場面を、私達教師は種を蒔くように仕掛けてきました。生活に必要なことばを身につけてほしい幼稚部の3年間。困った時、びっくりした時、ワクワクする時、心揺さぶられたその時のやりとりに必要なことばこそが、生活に必要なことばの種になるのではないのでしょうか。幼稚部ではこれからも、蒔いた種が芽を出して子ども達のやりとりにたくさんの(話の)花が咲くように、楽しく関わりたいと思っています。

小学部代表 総括教諭 鈴木 紀子

1年生から6年生までそろって、11名で出発しました。職員を合わせると25名。明るく発言する声、楽しい笑い声、時には泣き声、たまに叱られる声が2階、3階に毎日弾けていました。

4, 5, 6年生を中心にしてさまざまな行事を成功させました。高学年は自信と自覚が育ち、低学年は、自分たちもやることだという目標ができました。特に6年生の活躍を、さすがに最高学年だという思いで見つめていたことと思います。

みんなで仲良く、楽しく…そのためには何をしなければいけないのか、どういう行動を心がけないといけないのか、をみんなで考えながら作り上げた一年間でした。集団を作ることの難しさを子供たちはたくさん感じたと思います。班を作って実施した春の遠足は、班長としてのたいへんさを高学年は体験しました。先生がやるのではなく、自分たちがやることを経験した子供たちは、さらに成長した姿を見せてくれることだろうと楽しみです。

中学部代表 教諭 水戸 こずえ

中学3年間の学校生活を終え、いよいよ本校の高等部への入学が決まりました。小学校を卒業したときと比べ、身長が約17cmも伸びました。体の成長だけでなく心の成長や自分ができることが増え、目を見張るような3年間でした。

毎年行われている神体連では今年は100mと400mで優勝し、ジャバリックソーでも2位という好成績を残しました。400mではスタートの合図と同時にダントツで走ってくる姿に決勝の審判の先生たちからも歓声が上がっていたのを覚えています。

9月に行った京都・大阪・奈良への修学旅行では横須賀が大荒れに荒れた天候の中、関西ではほとんど雨に降られず、大いに楽しむことができました。京都・奈良では古い歴史に触れ、鹿と戯れ、エバーサルスタジオではショーなどを目を輝かせて見ていたのが印象的でした。中学生として最後のかしわ祭でも劇にダンスにと大活躍でした。ろう学校での最後の3年間でどれだけ成長するかいまからわくわくします。

高等部代表 総括教諭 渡辺 豊

「よくがんばったね。お疲れ様。」——今、高等部の生徒に感謝とねぎらいの言葉をかけるとしたら、これでは足りない。たった3人の小さな所帯で、よくあれだけ行事や催しを成功させたものだと感心している。生徒会としての挨拶や手話はおてのもので、実に堂々としていた。きっと、後輩たちも彼らの後に続いてくれると信じている。

今年度は、コミュニケーション能力を伸ばす意味でも、大きな一年だった。キャンプから始まって、神体連、

キャリア出前授業、夏の職場実習、かしわ祭、湘南学院高等学校との交流、冬の職場実習と続き、多忙を極めたが、その分生徒は鍛えられ、成長していったように思う。

来年度は1名減って、高等部は2名。今年以上に厳しいことが予想されるが、それだけに何かを達成できた時の喜びは、何倍にも膨らむだろう。それが楽しみだ。

乳幼・教育相談 教諭 常盤 由美子

本校には0歳から2歳のお子さんを通う、乳幼児相談(ひよこ教室)があります。病院や健康福祉センターなどの関係諸機関からの紹介や、保護者からの連絡を受けて相談に応じています。精密聴力検査機関(神奈川こども医療センター、横浜市大附属病院福浦、東京医療センター)からの確定診断を受けた方がいらっしゃるが多いです。

初回面談では「うちの子はお話ができるようになりますか?」、「人工内耳はどちらの病院へ行ったらよいのですか?」など、多くの不安が感じられます。そのようなご家族と一緒に、小児難聴の専門医のつくられた資料やビデオを見ながら課題について考えていきます。

今年度は乳幼児相談室の子どもが増え、現在、0歳児5名、1歳児3名、2才児1名の合計10名になりました。今後は活動の幅も広がり、子供同士の関わりの中から「ことば」を育てていく取り組みができることを、担当としても楽しみにしています。

通級 総括教諭 石崎 龍介

ことばやきこえの教室より

～今年度の新しい取り組みから～

通級には、幼稚部の卒業生に加えて軽・中度の難聴児も加わり、今年度は本校より多い22名の聴覚障害の児童・生徒が通う事になりました。それぞれの子供達は、各学校では1名程しかないないので、「聞こえにくさ」による困難さを抱えながら、理解されずに孤立しがちです。これまでは、ろう学校の「みんなあつまれ!」で年1回集まって交流していたのですが、今年度は月1回のペースで難聴通級児を集めて、「聞こえグループ学習会」を年間で企画しました。「自分の聞こえにくさに向き合う」ために、聞こえの仕組みから情報保障の方法まで実験を交えて一緒に学んだり、難聴カード等を使って遊びながら具体的な困り感に向き合ったりしました。また、先輩の小松先生をお呼びして「これまでの歩み」を共感的に聞く事ができ、これまで個別の学習では示してくれなかったポイントや悩みを、自ら語り始めています。1月からは自分たちで話し合い活動ができる場を作って、3月に向けて発表の企画を進めています。手応えの大きかったこの活動を、次年度も繋げていきたいと思っています。

横須賀市立ろう学校

〒238-0023 横須賀市森崎5-13-1

TEL 046-834-1172 FAX 046-834-0096

学校HPも更新しています。ご覧ください。

※3/11(金)の卒業証書授与式は10時開式になります。保護者の皆様は9:50までに体育館にお入りください。来賓の皆様は9:45までに校長室にお越しください。